

関係代名詞の見取り図

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 6つの型を運用し、what・非制限用法をふくめて名詞を1文で厚く説明できる

入試へ挑むクラス 偏差値のめやす 60以上 what と「コンマ1つで変わる意味」まで見ます (確認は4択)

気づき AとB、和訳はほぼ同じ「母の作るカレーは世界一だ」。何が違う？ (30秒考えて、となりの人と答え合わせ)

A	The curry my mother makes is the best in the world.
B	My mother makes the best curry in the world.

Bは「母」の話、Aは「カレー」の話。Aの主語は The curry my mother makes という大きな名詞のかたまりで、日本語は「母の作る→カレー」と前から、英語は名詞のあとから説明を足します。ここには関係代名詞 that が隠れていて、会話では何も置かない形がいちばんふつう—「名詞+S+V」と並んだら省略の合図です。

整理 この単元で扱う6つの型 (先行詞のうしろに節を足す)

形	作り方	表すこと	例文
主格 who (人)	人 + who + V	～する人	I have a friend who can ski. スキーができる友だちがいる。
主格 which (物)	物 + which / that + V	～する物	That is the dog which bit me. あれがぼくをかんだ犬だ。
目的格 (省略できる)	名詞 + (that) + S + V	SがVする～	The bag I use was a present. 使っているかばんは贈り物だった。
whose (～の)	名詞 + whose + 名詞	「～の」を作る	I met a girl whose cat is fat. ネコが太っている女の子に会った。
前置詞+関係代名詞	名詞 + in which など	前置詞ごと前に出す	This is the team for which I play. これが、ぼくの所属するチームだ。
非制限 (コンマつき)	名詞, which / who ～	補足をひとこと足す	I read his book, which is fun. 彼の本を読んだ。楽しい1冊だ。

ここから先が入試—①what は先行詞をふくむ関係代名詞 (What she said surprised me. = The thing that she said ～)。 「～すること・もの」を1語で作れるので、書く英語の道具として最強です。②コンマの有無は意味の違い—コンマなしは「複数の中から特定」、コンマつきは「ひとこと補足」。 my grandmother who plays tennis は「テニスをする方の祖母」=祖母が2人いる読みを生みます。③前置詞+関係代名詞は、関係副詞 (ユニット12) で where / when との言いかえにつながります。

確認 () 内から正しいものを選ぼう。 **知識・技能**

- (1) The cookies (that / who / whose / what) my sister bakes always disappear in a day.
- (2) I sat next to a student (who / which / that / whose) name I didn't know.
- (3) This is the house (which / in which / who / what) my grandfather grew up.
- (4) He gave me his camera, (that / who / which / what) he bought in 2010.
- (5) (Which / That / Who / What) I need now is a little more time.

確認の解答

(1)	that	うしろが S+V = 目的格。実は何も入れないのがいちばんふつう。
(2)	whose	「その人の名前」 = whose。うしろに名詞 (name) が続くのが目印。
(3)	in which	grew up in の in ごと前に出た形。which だけだと in の置き場がない。
(4)	which	コンマつきの補足 (非制限用法)。コンマのあとに that は置けない。
(5)	What	what は先行詞をふくむ関係代名詞 = 「～すること・もの」。What I need = the thing that I need。

つまずき① 主格の関係代名詞を省略してしまう

省略できるのは目的格だけ。主格を省略すると、1つの文に動詞が2つ並んで壊れます。「名詞+S+V」(省略OK)と「名詞+V」(主格=省略不可)を並べて見せると直りが速くなります。

× I have a cousin plays the drums in a band. → ○ I have a cousin who plays the drums in a band.
a cousin のうしろがいきなり動詞=主格の節。主格の who は省略できない。

つまずき② 節の中に代名詞を残す

関係代名詞は節の中の代名詞が前に出た姿です。it が which になって前に出たのに、元の席にもう一度 it を書くと席が二重になります。日本語の「それを」が残る、和訳経由の誤りです。

× This is the bag which I bought it last week. → ○ This is the bag which I bought last week.
which が it の席ごと前に出ている。bought のうしろは空けておく。

つまずき③ 節の中の動詞の数をまちがえる

主格の関係代名詞のうしろの動詞は、先行詞に合わせて形を決めます。直前の名詞まで戻って確かめる習慣を一先行詞と節が離れる長い文ほど起きやすい誤りです。

× I know some people who likes the singer very much. → ○ I know some people who like the singer very much.
先行詞は some people = 複数。who のうしろの動詞は like。

つまずき④ 「物に whose は使えない」と思い込む

whose は先行詞が物でも使えます (a house whose windows are all broken)。発音が同じ who's (= who is) との混同にも注意—whose のうしろには名詞が続きます。

× We saw a house which windows were all broken. → ○ We saw a house whose windows were all broken.
「その家の窓」= ~の、なので whose。which だと windows とつながらない。

つまずき⑤ コンマのあとに that を置く

コンマつき (非制限用法) は「ひとこと補足」の形で、that だけは使えません (which / who / whose は使えます)。コンマの有無は意味の違いで、コンマなしは「複数の中から特定する」読みを生みます (小テスト大問4で扱います)。

× I lent him my favorite novel, that I bought last month. → ○ I lent him my favorite novel, which I bought last month.
コンマのあとは which。that はコンマつきでは使えない。

授業のひとつ 前日にこの紙を配り、確認問題まで解いてこさせる反転で使えます。授業は「省略する/しない・前置詞の置き場」の検討 (ドリル発展版の大問3) と、コンマの有無の意味差に充ててください。